

ZEBを目指して、環境調査センター・衛生研究所を PFI手法により整備します

環境調査センター・衛生研究所整備等事業契約 債務負担行為 6,710,000千円

と り ま と め
環境部 環境政策課
環境調査センター建設グループ
内線 3011・3022
(ダイヤル)052-954-6624

老朽化等により建替えが必要となっている環境調査センター・衛生研究所について、民間活力を用いて整備・維持管理します。あわせて、ZEBの実現のため最新の省エネ・省エネ設備を導入します。

【PFIによるメリット】

建設と維持管理を一括で行うことによるトータルコストの縮減

【整備の基本方針】

- 本県の環境行政、衛生行政における拠点施設の機能維持
- 環境首都あいちにふさわしい全国モデルとなる新エネ・省エネ施設
具体的には、「エネルギー消費の多い試験研究施設で全国トップクラスとなるZEB（ゼロ・エネルギー・ビルディング）（※）」を目指します。
●建物のエネルギー消費を現状より約83%削減
- 県民に親しみを持ってもらえる施設
(県民向け展示室の設置・見学ルート整備等)

【場所】

名古屋市北区辻町地内（現在の場所で機能を維持しながらの建替え）

【事業範囲】

本館・研究棟及び排水処理棟の建設工事（実施設計、既設施設の取壊し、外構工事を含む）並びに既設施設を含めた敷地全体の維持管理

【事業実施スケジュール】

平成28年10月～ 設計・建設期間（2.5年間）

平成31年4月 新施設の供用開始（維持管理期間15年間（平成46年3月まで））

（※）ZEB（ゼロ・エネルギー・ビルディング）

省エネや再生可能エネルギーの活用等により、建物内での石油・天然ガスなどを利用したエネルギーの使用量をゼロ又は概ねゼロとする建築物

- ◆導入が想定される設備（事業者の提案にて具体化）
- 東西南北の壁面及び屋上の太陽光発電
- 太陽熱・地中熱・地下水を利用した冷暖房
- 全館LED照明のほか、最新技術の有機EL照明など省エネ型照明
- 最適なエネルギー利用のためのBEMS（ビル・エネルギー・マネジメント・システム）